

マーケットの動き（2021年8月9日～8月13日）

先週の米国国債市場は、前週末比で金利はほぼ横ばいとなりました。

前週末に発表された米国雇用統計の好結果を受け、米国金利は上昇基調で推移したものの、週末にかけては、米国CPI（消費者物価指数）が市場予想を下回ったことから低下に転じ、前週末とほぼ同水準で週を終えました。

ドイツ国債市場は、金融緩和への期待感から前週末比で金利はほぼ横ばいとなりました。

投資環境見通し（2021年8月）

長期金利は、米国、欧州（ドイツ）とも方向感に欠ける展開

米国：多くの州で失業給付が打ち切られたことを受け、労働市場に復帰する動きに加え、旺盛な求人環境もあり雇用情勢はさらなる改善が見込まれます。一方、新型コロナウイルス変異株の感染拡大が懸念される中、追加の財政政策成立を巡る先行き不透明感も残っています。長期金利は今後の金融政策の先行きを織り込みつつも当面は方向感に欠ける展開を予想しています。

欧州（ドイツ）：ECBが戦略変更を行った直後であり、当面は現行の金融政策を継続するとみられることから、当面は米国長期金利に連れた動きになるとみえています。

	8月13日	変動幅（騰落率）			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
10年国債利回り（米国、%） （変動幅）	1.30	0.01	▲0.12	0.10	0.59
FTSE世界国債インデックス 除く日本、円ベース（騰落率）	512.54	▲0.25%	0.50%	3.20%	2.69%

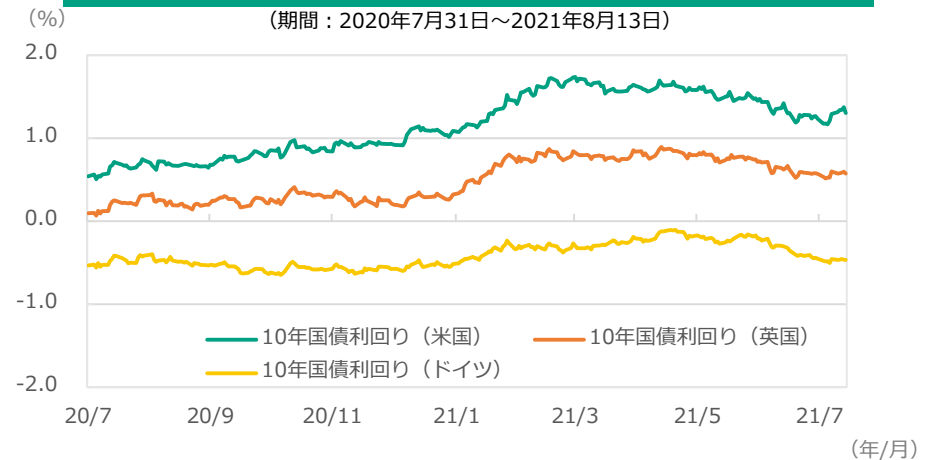
※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日（休日の場合は前営業日）までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202108_outlook.pdf

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>

主要国国債利回りの推移



FTSE世界国債インデックスの推移



※2020年7月31日の値を100として指数化

※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成